

Monthly Repo. ならやま

八木 順一

10月17日(土) イベント 晴れ 29名+59名

恒例の「芋ほりイベント」。狭い畑に100人がひしめき合い、壮観。子供たちは勿論のこと、保護者も必死にスコップを振るう。経験不足は子供だけではないようだ。また、その後の芋コンテストでは、ツルの長さや重さ、はたまた形の面白さまで競う。豚汁が供された昼食後は各グループ毎のならやま探検。設定された8ポイントを回る。最後にBCで振り返りの時間を持つ。アンケートを書いたりおいしそうな匂いの焼き芋をほお張ったりしたが、最後には今日自分たちで掘ったばかりの芋をお土産にもらいニコニコ顔で帰路に。



はたまた形の面白さまで競う。豚汁が供された昼食後は各グループ毎のならやま探検。設定された8ポイントを回る。最後にBCで振り返りの時間を持つ。アンケートを書いたりおいしそうな匂いの焼き芋をほお張ったりしたが、最後には今日自分たちで掘ったばかりの芋をお土産にもらいニコニコ顔で帰路に。

10月22日(木) 活動 晴れ 56名

恒例の稲刈り。今年も佐保台小児童と一緒に作業。全員参加で仕事も捗り、一時間あまりで作業も終了。里山Gは林野庁関係地域の伐倒、エコGは芋ほりや野菜の施肥に取り組む。景観Gは草刈りや花畑の柵作り等、そしてパトは第2コース巡回に出る。打ち合わせではイベント等への参加お礼とこれからの予定についての連絡。今年もスズメバチが発生しているので気をつけて欲しい、との注意喚起もあった。

10月29日(木) 活動 晴れ 69名+1名

ソバ刈りが行われ、クラブメンバーに加え他の会員の協力で終了。ソバ祭りが楽しみである。里山Gは倒木処理を中心に、エコGはシントウやピーマン等の野菜類の撤去と芋ほり。この芋は早速焼き芋にして賞味。「おいしい」の声しか出ない。景観Gはソバ刈りと水生生物調査、そして花畑の柵作り等。パトは第3コースの巡回へ。打ち合わせでは会報のアンケートや備品調査のお願い、そ

の他 11月の刈払機講習会の再確認や忘年会・新春講演会の予告が行われる。シニア実習生1名。

11月5日(木) 活動 晴れ 65名+4名

稲の脱穀、ソバの刈り取り、そして山作業と全員作業が3つも重なり大変。しかし好天と多くの参加者のおかげで無事終了。打ち合わせでは参加者必ず全員参加の作業のどこかに参加して欲しいと依頼。



午後は各Gとも倒木の処理や稲やソバの収穫、そして冬野菜や花の準備等で忙しく時間を過ごす。稲の脱穀作業には佐保台小児童2名も参加した。

11月12日(木) 活動 曇り 66名+3名

朝の打ち合わせの後、全員でBCの石拾い。里山Gはカシナガ枯死木の伐採を中心に、景観Gはソバの脱穀や池の生物調査、ワタの収穫等に取り組む。また、パトは観察路の階段の修理を行う。エコGはタマネギの植え付けや野菜の収穫に汗を流す。県がカシナガ被害木・薪8m³を買取るとのこと。県から3名来訪。



11月19日(木) 活動 曇り 60名

懸案だった備品整理が進む。整理も大切だが、会員の中に備品を大切に扱う、といった気持ちが更に深まることを期待したい。里山Gは倒木や枯れ木の処理を中心に、エコGは備品整理と秋野菜の後片付けに取り組む。景観は草刈りや山野草園の整理や備品整理、パトは第2コースの巡回に出る。打ち合わせでは12月の月例研や忘年会の予告等が行われる。県がカシナガ被害木・薪の一部を引き取りに来訪。